


令和 7 年度
池田町総合福祉センター（デイサービスセンター）
機械設備改修工事

図面リスト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺（ ）内はA3版適用
M-00	表紙・図面リスト	No Scale
M-01	機械設備特記仕様書	No Scale
M-02	案内図・配置図	1/300（1/600）
M-03	給湯・浴室関係全体系統図	No Scale
M-04	凡例・機器表・系統図	No Scale
M-05	工事範囲指示図	1/200（1/400）
M-06	改修配管図	1/30（1/60）
M-07	舗装・基礎図	1/30（1/60）
M-08	電気設備配線図	1/50（1/100）
M-09	既設機器表（1）	No Scale
M-10	既設機器表（2）	No Scale
M-11	既設機械室詳細図	No Scale

 株式会社 伊藤建築設計事務所

令和 8 年 1 月 設計

令和7年度池田町総合福祉センター
（デイサービスセンター）機械設備改修工事設計図

令和8年1月（全12枚）表紙共

仕様書

1. 工事概要

1. 工事場所北安曇郡池田町大字池田2005-1

2. 建物概要

建物の名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法令施行別表第一の区分	施設の分類	備考
総合福祉センター	Rc造	地上2階	3990.38		特定の施設増築	

3. 工事項目（●印を付けたものを適用する）

建築物及び屋外工事種目	ディサービス棟	工事種別
○空気調和設備		
○換気設備		
○排煙設備		
○自動制御設備		
○衛生器具設備		
●給水設備	改修一式	
○排水設備		
●給湯設備	改修一式	
○消火設備		
●浴槽ろ過循環設備	改修一式	
○ガス設備		
●給油設備	改修一式	
●電気設備	改修一式	
○撤去工事		

4. 指定部分 ○無 ○有 対象部分（ ）
指定部分工期：令和 年 月 日

5. 設備概要（●印のついたものを適用する） ※改修工事の場合は既存概要を示す。

方式及び種別	設	備	概	要
空調方式	○空気調和	○単一ダクト方式	○全空気方式	
主要熱源機器	○ファンコイルユニット・ダクト併用方式	○		
自動制御方式	○電気式	○電子式	○デジタル式	
給水方式	○高置タンク方式	○ポンプ直送方式	○水道直結方式	○水道直結増圧方式
排水方式	建物内の汚水和雑排水（○合流式 ○分流水） ポンプ排水 ○あり（○汚物 ○雑排水 ○湧水） ○なし 建物外放流先 (1) 汚水 ○直接下水管 (2) 雑排水 ○直接下水管 (3) 排水槽 ○あり〔計画容量：汚水槽 ㎡、雑排水槽 ㎡〕 ○なし			
消火設備の種類	○屋内消火栓設備	○スプリンクラー設備		
	○泡消火設備	○連結放水方式	○連結送水管	
	○不活性ガス消火設備（○）	○		
ガスの種類	○都市ガス（種別 13A、高位発熱量45.0MJ/m³(N)、低位発熱量40.6MJ/m³(N) 供給圧力 Pa、供給事業者名)			

6. 改修内容：改修工事の場合に記載する。

2. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁官営補部制定の下記標準仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- 公共建築設備工事標準図書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図書」という。)

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様は、(/) 図、建築工事の工事仕様は(/) 図による。

2. 特記仕様

章、項目、特記事項共に●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

●工事用仮設備

○足場その他

●建設発生土の処理

●埋め戻し土・盛土

○運転操作説明板

●機材の承諾図

○総合試運転調整

○電動機

●電源周波数

○容量等の表示

●耐震施工

○配管

○試験

○絶縁継手

○地中埋設等

●保温

●塗装、仕上げ

○電線類

○天井仕上区分

●吊り及び支持金物

○施工調査

●既存躯体への穿孔

○他工事との工事区分

3. 安定な供給が可能であること。

4. 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。

5. 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

6. 販売、保守等の営業体制が整えられていること、なお、システムとして機能するものにあつては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。

構内につくることが ●できる ○できない

○別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。(○建築工事 ○電気設備工事 で設置する。)

○本工程で設置する。「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。○内部足場等（○種 ○種）○外部足場等（○種 ○種）

○埋戻し後の建設発生土は、監督職員と協議し、構内の決定した場所に敷きならしとする。●塙外搬出適切処理 ○現場説明書による。●掘切り土中の良質土 ●山砂の類

系統図、機器等の取扱い方及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは約 ㎡とする。機械設備工事機材承諾図様式集（令和4年版）によるほか、監督職員との協議による。○本工程 ○別途

調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）○風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の湿度の測定 ○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ○飲料水の品質の測定 ○使用水の品質の測定

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。●60Hz

(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

設備機器の固定は施設の分類に応じて次による。(1) 設計用水平地震力

設計用水平地震力は、機器の質量[kN]（水箱類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものととする。

	機器種別	●特定施設		○一般施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水箱類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水箱類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水箱類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。

・水箱類にはオイルタンクを含む。

・重要機器は次のものを示す。(名称： 、記号：)(名称： 、記号：)(名称： 、記号：)(名称： 、記号：)(名称： 、記号：)

(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。

(1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。○呼び径60mm以下(SAS322を満たした継手)

(2) 溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要 (採取率 ○標準仕様書(機械設備工事編)による ○ %)

(1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。

(2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。

図示の位置に取り付ける。(1) 地中埋設等 ○要（図示の箇所） ○不要

(2) 埋設表示用テープ ○要（排水管を除く） ○不要

●屋外露出部の(○機器類 ●配管類)には ●凍結防止ヒーター ○防寒保温)を行う。なお、配管類には弁類を含むものとする。(対象機器類： ○ ○ ○)(対象配管類： ●給水配管 ●給湯配管 ○浴槽ろ過管理配管 ●ドレン管

凍結防止ヒーター：自己サーモ式とし、防寒保温を施す。防寒保温：標準仕様書第2編1.4及び3.1.5による。ただし、保温厚さは配管の呼び径25以下は50mm以上、呼び径32以上は40mm以上とする。

○共同溝、トレンチの保溫は（標準仕様書第2編の施工箇所）を適用する。○多湿箇所は下記による。（天井内共有湿箇所とする。）(対象室名： ○ ○ ○)

○屋内露出部の(○実験室 ○)の保温外装は(○アルミガラスクロス)とする。露出機材の塗装及び仕上げは下記による。●屋外： ●ドレン管 ●指定色塗装 ○)(○冷却水管 (○指定色塗装 ○)(○金属電線管 (○溶融亜鉛メッキ仕上げ〔付着量300g/㎡〕 (○指定色塗装 ○)

○屋内： ○ダクト ○指定色塗装 ○)(○排水管・通気管 ○指定色塗装 ○)(電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。()書きの室名は直天井を示し、その他の二重天井を示す。●構内()の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製（SUS 304）とする。事前調査 ○本工程 ○別途

調査内容 ○既存資料調査

調査項目 ○図示 ○

調査方法 ○図示 ○

○はつり及び穿孔作業を行う場合、事前に走査式埋設物調査を行い報告すること。○石綿含有分析調査（○本工程 ○別途工事）

穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる附属装置を用いて施工する。

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

○空気調和設備

○設計温湿度

○銅板製罐道

○ダクト

○風量測定口

○チャンパー

○ダンパー

○配管材料

○弁類

○温度計・圧力計

○瞬間流量計

○油面制御装置

○保温及び清音内貼

○交換設備

○風量測定口

○自動制御設備

○衛生器具設備

○排水設備

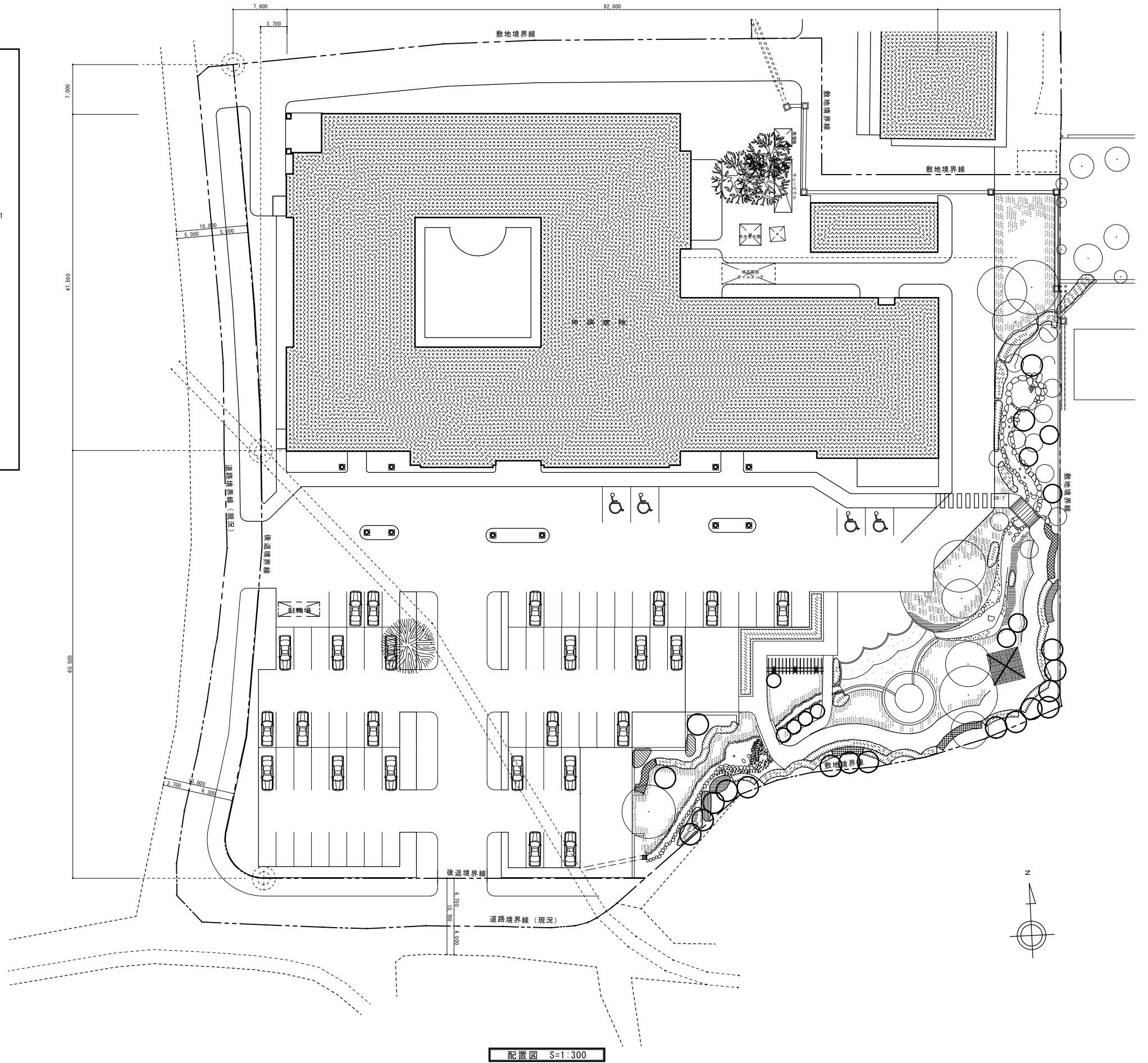
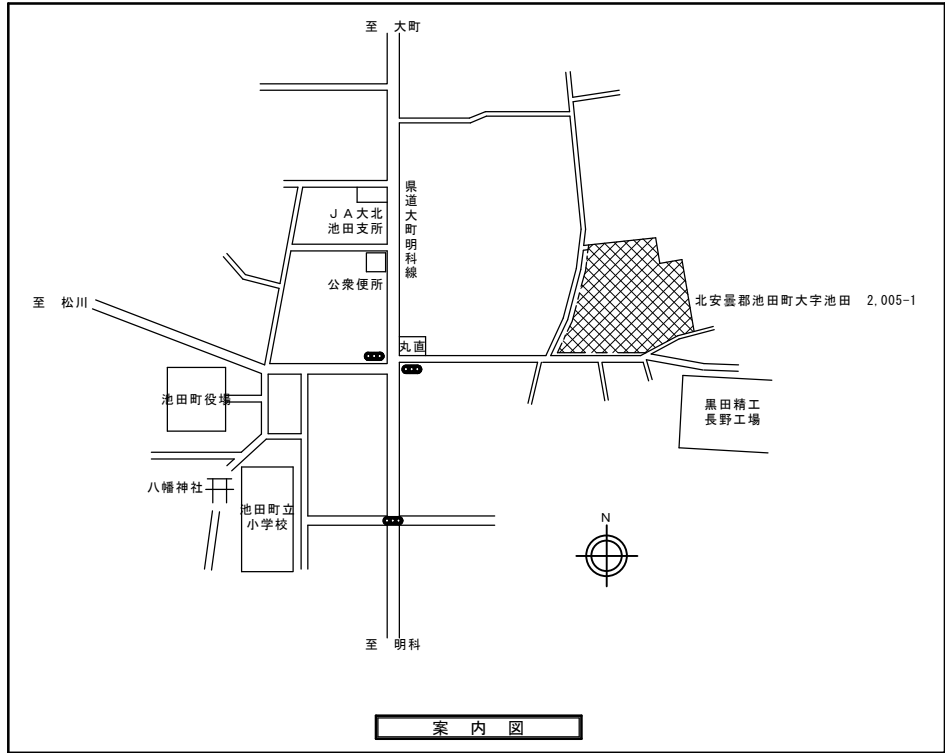
○排烟口の形式

○排煙口の形状

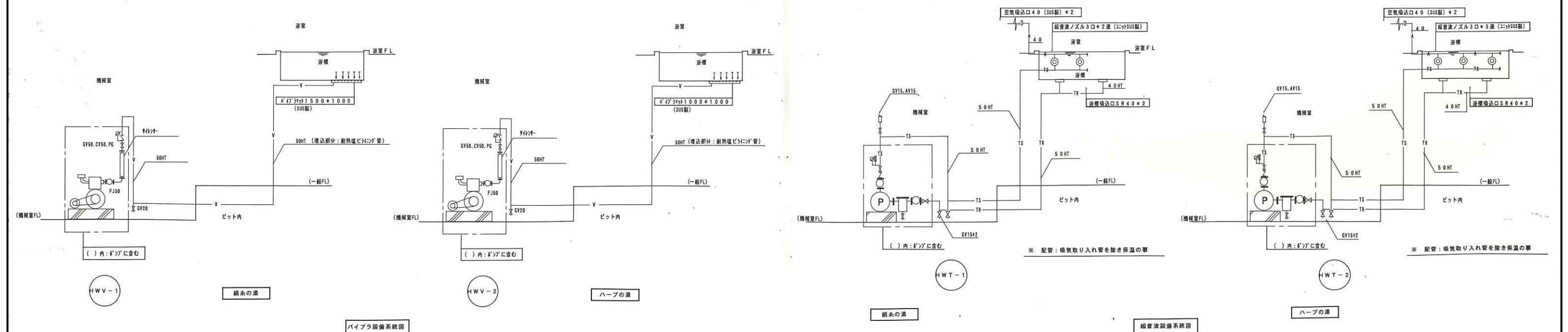
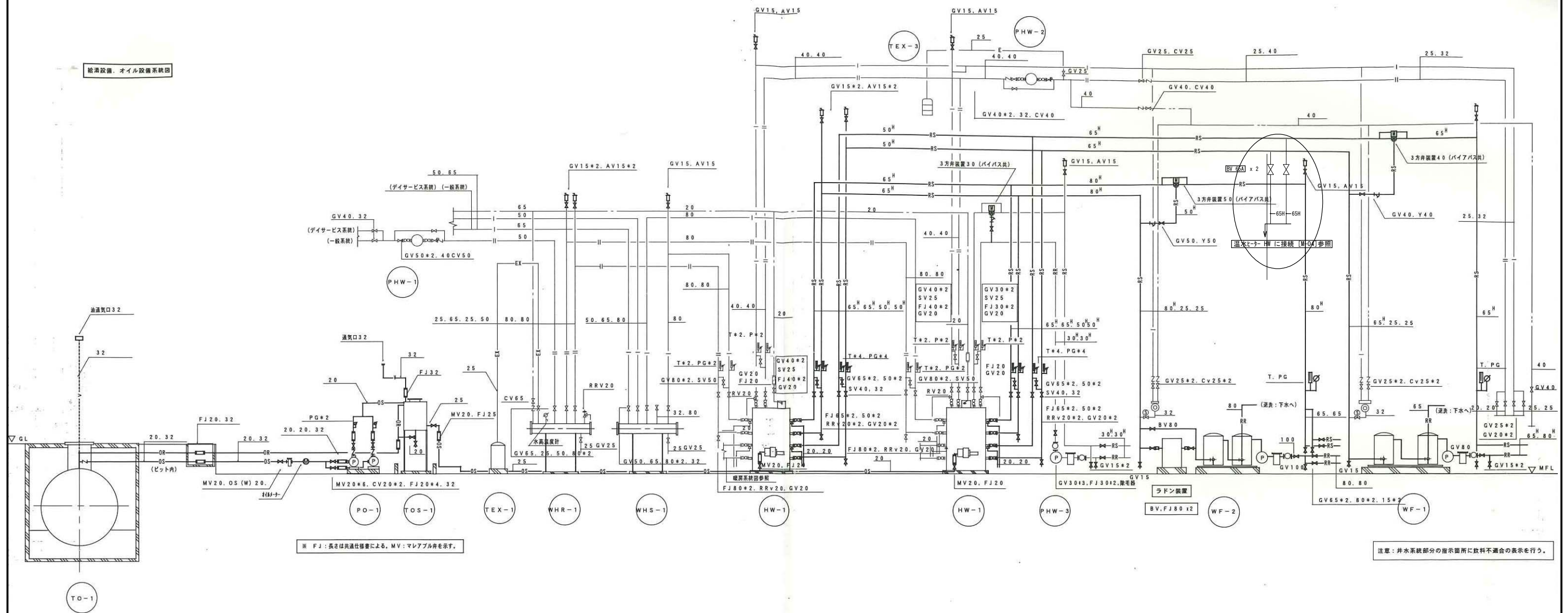
○排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式）

○排煙風量測定

○中央監視制御装置



給湯設備、オイル設備系統図



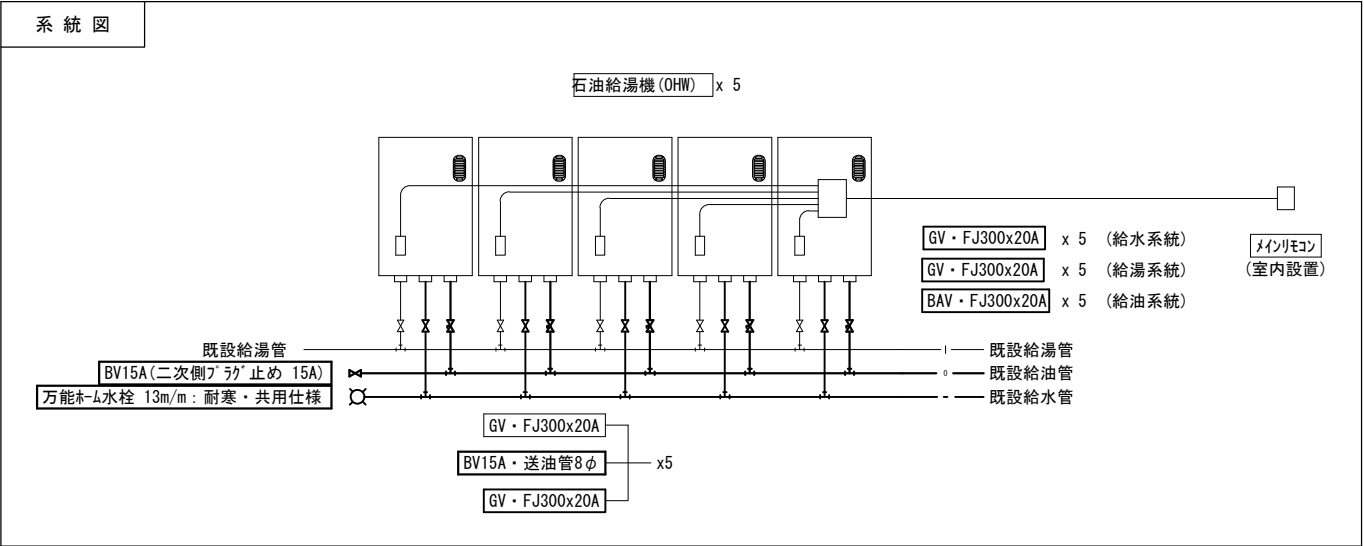
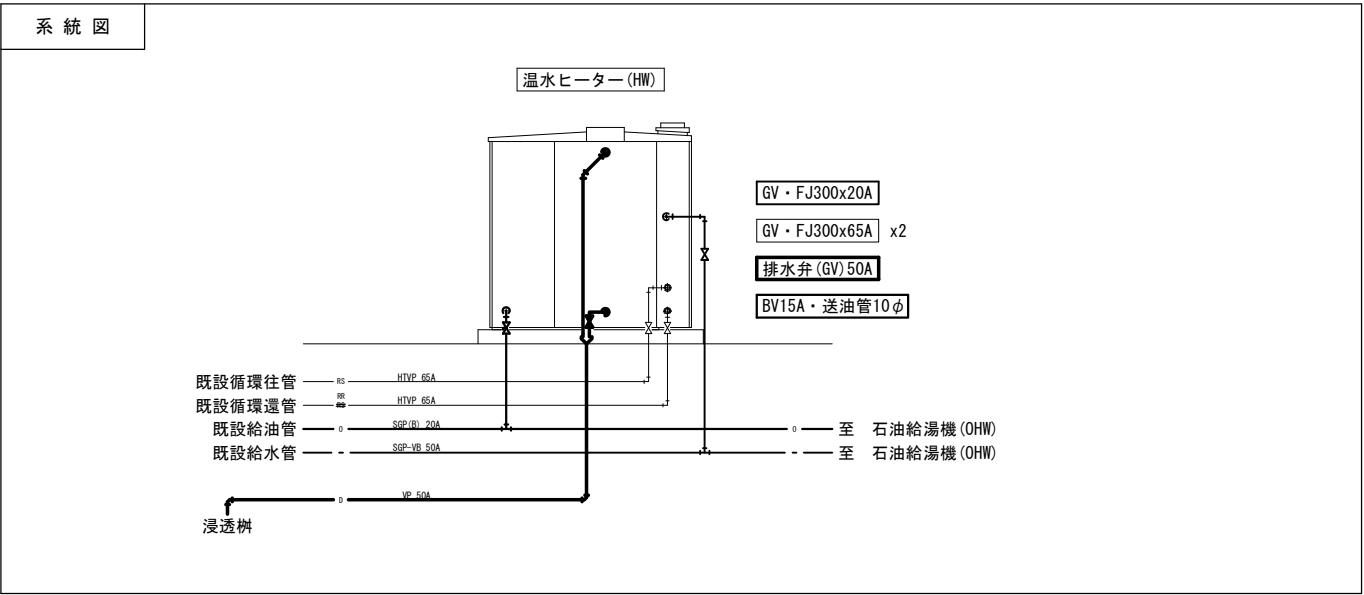
凡 例

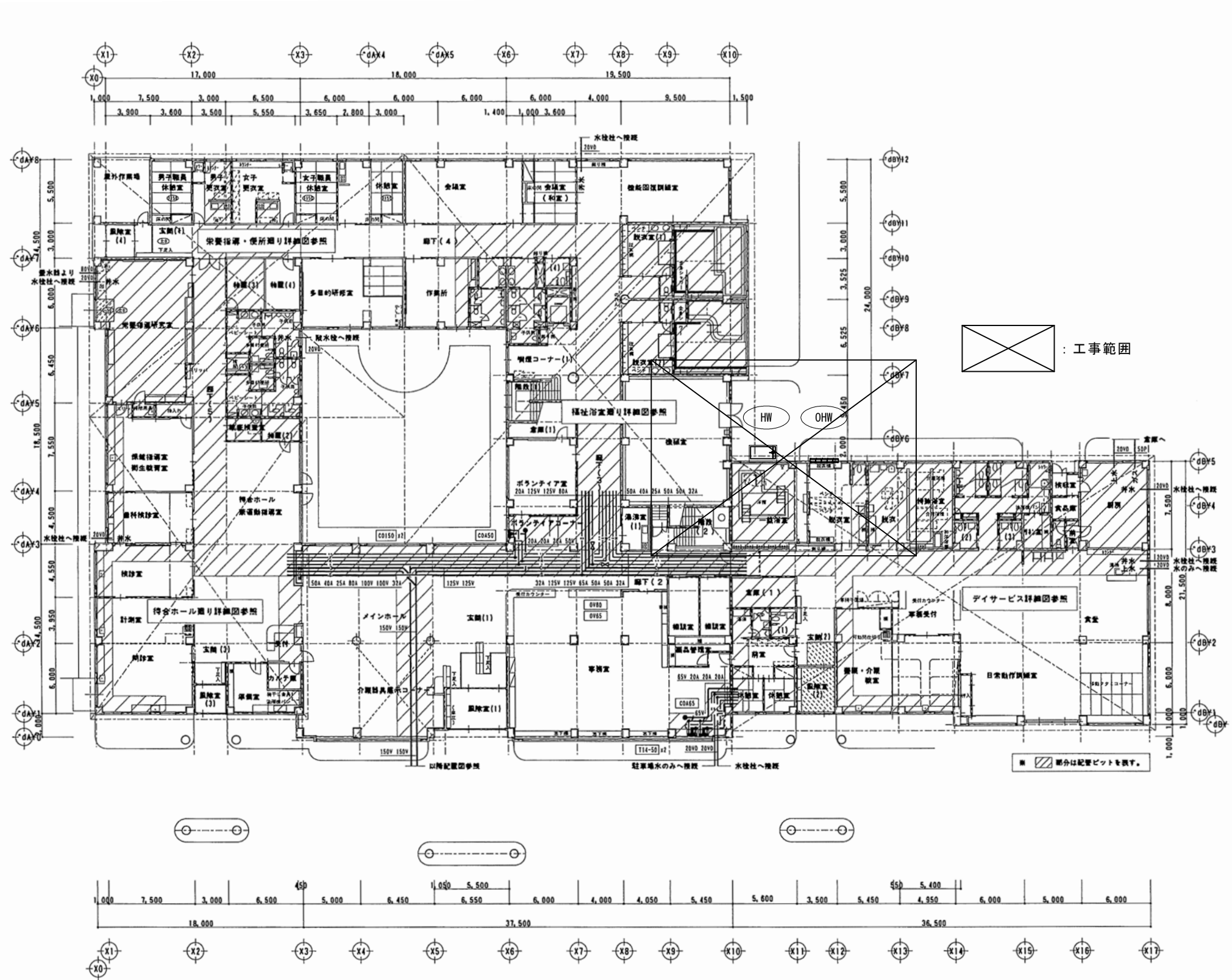
記 号	名 称	備 考		
―― - ――	給 水 管	機械室・屋外架空	水道用硬質塩ビライン管	JWWA K 116 SGP-VB
		地中埋設部(不凍栓以降) ・ 暗渠内	水道用内外面塩ビライン管	JWWA K 116 SGP-VD
―― ――	給 湯 往 管	機械室・屋外架空	耐熱性塩ビライン管	JWWA K 140 SGP-HVA
		(機器排水管対応)		
―― ―――	雑 排 水 管	ビツト内・屋外(一般)	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 VP
		(機器給水排水系統)	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742 VPW
		(機器排水対応)	配管用炭素鋼々管	JIS G 3452(白)
―― RS OV ――	ろ 過 送 り 管	機械室・屋外架空	給湯用硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6776 HTVP
―― RR OV ――	ろ 過 還 り 管	機械室・屋外架空	給湯用硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6776 HTVP
―― OS ――	給 油 管	機械室	配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452(黒)
―― OS ――	給 油 管	屋外架空	密着一層型ポリエチレン被覆鋼管	JIS G 3469 PLS
―― OR ――	返 油 管		配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452(黒)
―― OV ――	油 通 気 管		配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452(黒)
―― R ――	冷 媒 管	冷媒用被覆断熱銅管 保温厚：メーカー仕様による		
		(防火区画の貫通は、国土交通省大臣認定の処理を行う)		
―― X ――	消 火 管		配管用炭素鋼々管	JIS G 3452(白)
―― G ――	ガ ス 管		外面被覆鋼管	
―― ⊗ ――	埋 設 弁	ボックス共		
―― ⊗ ――	弁 類	上水直結部	JIS 10K	油系統 マレヅル
―― ⊗ ――	給 水 栓			
―― ⊗ ――	給 湯 栓			
―― ⊗ ――	湯 水 混 合 栓			
―― ⊗ ――	フ レ キ 継 手			
―― ⊗ ――	床 排 水 金 物	A型：非防水型	B型：防水型	
―― ⊗ ――	床 上 掃 除 口	A型：非防水型	B型：防水型	
―― ⊗ ――	ト ラ ッ プ 樹	小口径塩ビインポート樹		
―― ⊗ ――	屋 外 掃 除 口	小口径塩ビインポート樹		
―― ⊗ ――	スパイラルダクト	亜鉛鋼板製		
―― ⊗ ――	ダ ン パ ー	FD … 防火ダンパー	VD … 風量調節ダンパー	MD … モーターダンパー

※ 配管が防火区画や114条区画を貫通する部分は、適切な区画処理を行うこと

機 器 表

設置場所	品 名	仕 様		数	参 考 品 番
屋 外	温 水 ヒ ー タ ー <div>HW</div>	無圧缶水式 屋外設置型 2回路		1	BH-L125X [巴商会]
		使用燃料 灯油	電源 3相200V		
		給湯回路最大出力 291kW	循環回路最大出力 233kW		
		定格出力 291kW(250,000kcal/h)			
	石 油 給 湯 機 <div>OHW</div>	水道直結 屋外壁掛開放		5	OQB-C4701WZS 他 [ノーリツ]
		使用燃料 灯油	電源 単相100V		
		連続給湯出力 46.5kW(40,000kcal/h)			
		配管カバー・リモコン(リモコンポート) 共			





株式会社 伊藤建築設計事務所

事務所登録番号 長野県知事登録 (松本) L第8832号
管理建築士 一級建築士登録 第204015号 伊藤 公樹

設計者
一級建築士登録
第151827号
丸山 晋

設計者
一級建築士登録

Memo

CONSTRUCTION NAME

令和7年度 池田町総合福祉センター (デイサービスセンター)
機械設備改修工事

MAP NAME

工事範囲指示図

SCALE

1/200

DATE

R08.01

A1

1/400

Job No.

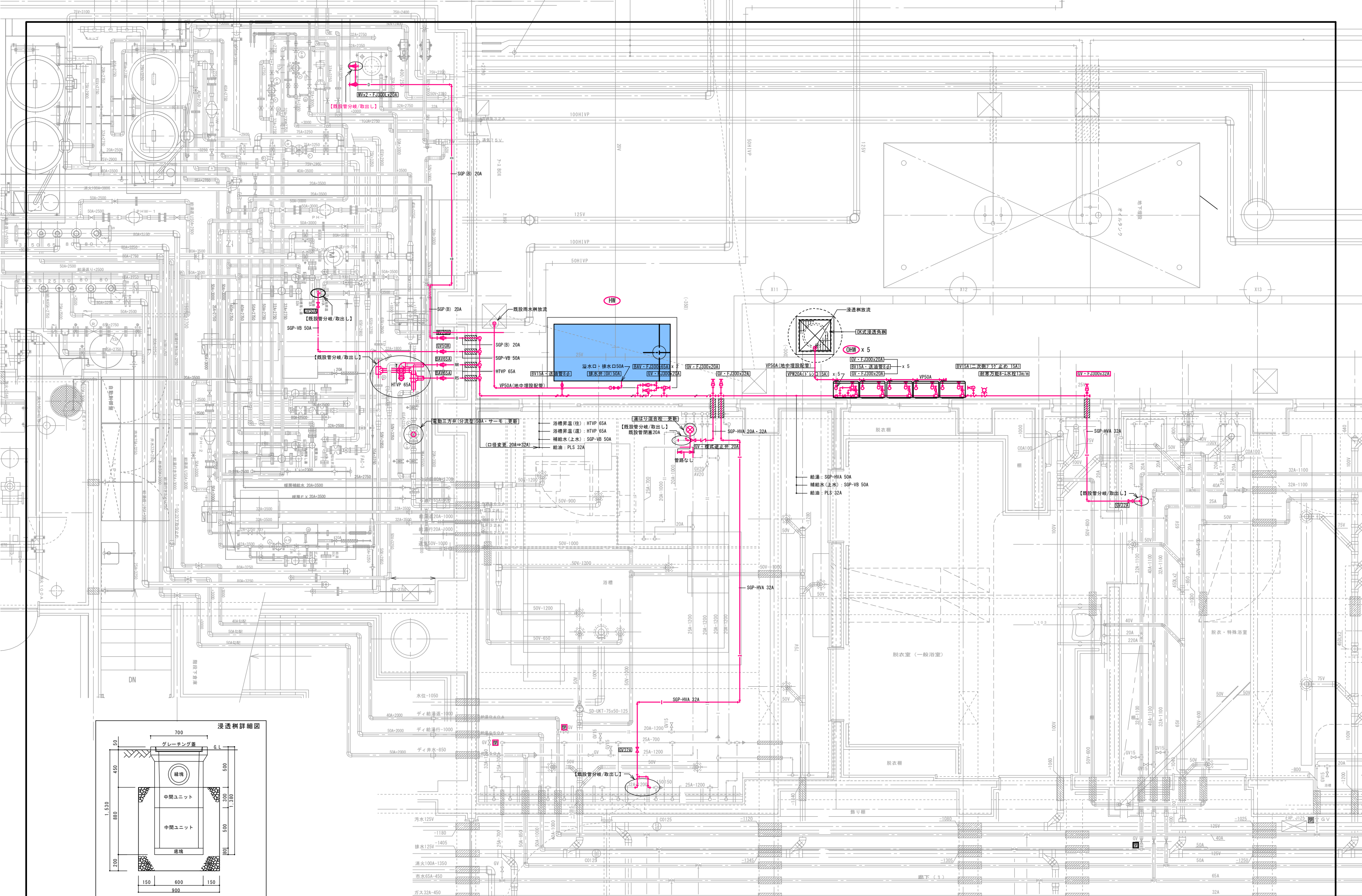
24-039

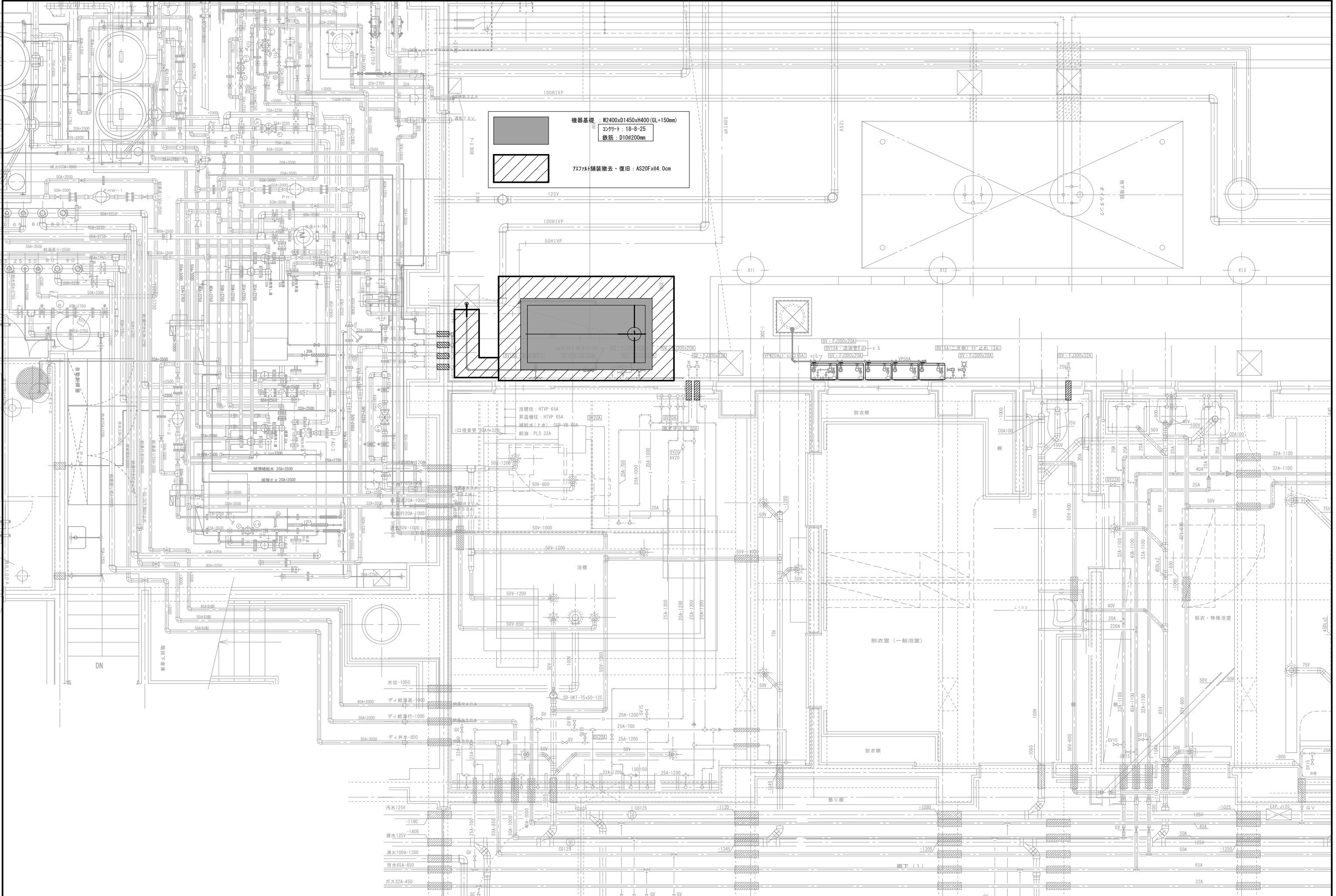
A3

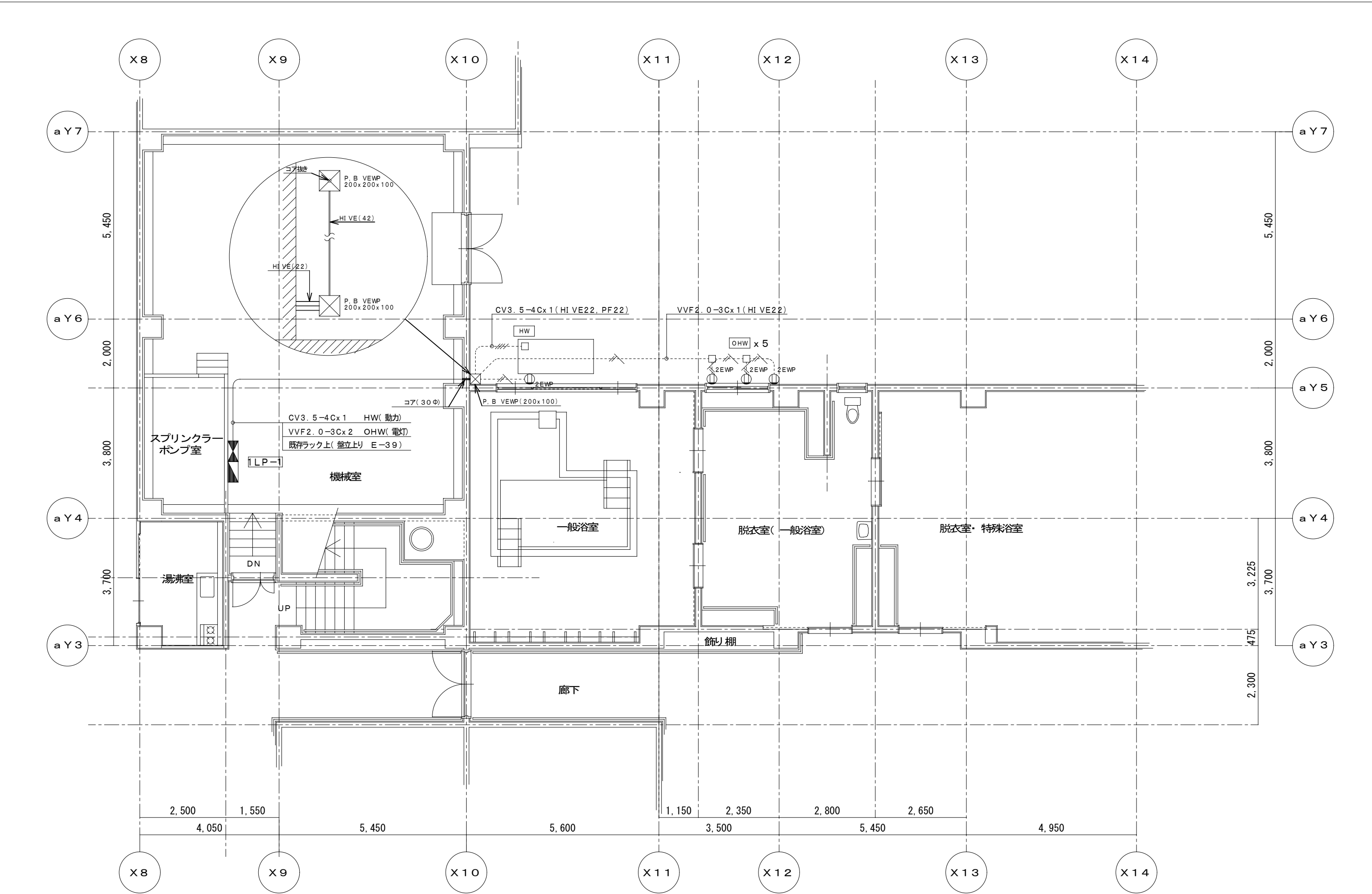
MAP

No.

M-05







機器表 (2)		(建設省仕様にする)																							
ブロック別	記号	機器名称	設置場所 (対象場所)	機器型式	機器仕様	数量	電力 (周波数: 60Hz)					起動方法	連動 インターロック	遠方操作		警報	非常電源							備考	
							容量 kW(0)	台数	電圧 V	相	極数			発	停										
事務 管理	TO-1	オイル主タンク	屋外	地下タンク室型	容量6,000L 付属品一式 RC構造一式 埋設砂、標示板、消火器及び消火器BOX	1										○								消防法適用	
					標準図参照																				
	TOS-1	オイルサービスタンク	機械室	鋼板製角型	容量150L (有効) 700*400*700H*3.2t 型鋼架台1500H、梯子	1										○								標準基礎150H 防油堤: 建築工事	
					油面計 (過流防止型)、転倒防止金具、各タッピング、他 標準図参照																				
	PO-1	オイルポンプ	機械室	灯油用歯車型	15 ^ℓ * 10L / min * 3Kg / cm ² 圧力計、連成計、他一式 自動交互運転	2	ポンプ	0.4	1	200	3	4	L					15GPA6.2						標準基礎200H	
	PFW-1	不凍液補給ポンプ	機械室	ユニット型	ポンプ 定圧給水ポンプ 20 * 15L / min * 15M	1	ポンプ	0.13	1	100	1		L			○		20HPN6.12S						標準基礎150H 不凍液対応	
					受水タンク100L 合成樹脂製 70*80、制御 (空転防止)、電機座*2、他一式 (減速警報)																				
	TW-1	井水用受水槽	屋外	FRP製角型保温タイプ	容量20m ³ (有効) 沈砂池5t (有効) 5000*2500*2500H マンホール*2、梯子*2 通気孔、各タッピング	1										○								基礎: 建築工事	
屋外 他					防凍板、平架台 (至給排水溝)、他一式 屋外設置組立型 (積雪約60Cm) 0.6G																				
	PW-1	井戸ポンプ	屋外	深井戸水中ポンプ	80 ^ℓ * 1000L / min * 70m 井戸蓋、給水管 (GP)、圧力計、連成計、仕切り弁、逆止弁、制御用ケーブル、電源用ケーブル、他一式	1	ポンプ	11.0		200	3	2	人△			○		80BHS4611B						井戸及び井戸ビット: 別図 (本工事) * 揚水試験により変更有り	
	PW-2	自動給水ポンプ	機械室	ユニット型	吐出圧力一定 SUS製又は付加ポンプ製ポンプ 並列交互運転 給水量600L / min (max) 使用圧力3kg / cm ²	1	ポンプ	3.7	2	200	3	2	L			○		50BN9MD63.7A						標準基礎200H 塩素系薬剤運転 塩素減警報	
					吸込方式: 湧込 制御盤 (SCR、警報、同外部接点、空防接点、他) 吐出集合管、圧力タンク、他付属品一式 塩素減警報装置1式 (容量100L共)		ポンプ	0.15	1	100	1		L												
	PW-3	流水用ポンプ	機械室	陸上渦巻型	80 ^ℓ * 800L / min * 15m 圧力計、連成計、仕切り弁、逆止弁、他一式 ステンレス製	1	ポンプ	5.5		200	3	4	L			○		80x65FSS4H65.5						標準基礎300H	
	SM-1	煙専	機械室	円筒型	300 ~ 450 板厚3.2t 測定口100*2、排煙濃度孔*2、排煙口他 保温タッピング施工	1																		煙突挿入穴埋合付	
	WHSR-1	給湯用ヘッダー (S, R)	機械室	鋼管製	150 ^ℓ * 1500L 外部: 溶融亜鉛メッキ製 内部: 1/2" 杉コーティング 鋼管柱架台 水高計、各タッピング、他 保温タッピング共	2																		標準基礎150H	
	GT-1	グリストラップ	屋外	整形品	実容量200L FRP製 RCコンクリート巻、笠上共、サンドクッション砂埋設、編組板蓋*41/2" 蓋り共 メンテ用備品用意	1												GF-230P-US (特)							
	GT-2	グリストラップ	屋外	整形品	実容量200L FRP製 RCコンクリート巻、笠上共、サンドクッション砂埋設、編組板蓋*41/2" 蓋り共 メンテ用備品用意	1												GF-230P-US (特)							

※機械室の上階が居室となる為図示無くとも防振、防音に配慮の事

